

23 復興をめざして

下の写真を見て、石巻市がどのように
変わったのか話しましょう。

○復興に向かう石巻市



ひよりやま み なか ぜ ほうめん
日和山から見た中瀬方面



よし の ちょうしゅうへん
吉野町周辺



お が つ ち く しゅうへん
雄勝地区周辺



〇復興にかかわった人たち

まちの電気屋さんのお話

だいしんさい みなとちく 大震災で湊地区にあったわたしの店は津波の大きなひがいにあい、水が引いたあとしばらくは、かぞくといっしょにしんせきの家に避難して生活していました。少しのどうぐ けい 道具と軽トラックしか残らず、でんきや しごと つづ 電気屋の仕事を続けるのはむずかしいと思っていました。でも、がつ すえ 3月の末くらいになるとお客さんから電話がかかってくるようになりました。おなじように じんさい 震災でひがいを受けた人たちが、エアコンなどのしゅうり 理をしてほしいということでした。ぶひん 部品がなく、ひとで すく 人手も少ないじょうたい でしたが、「たよ 頼りにしているから」とお客さんにはげまされ、しごと つづ 仕事を続けようというきもち 気持ちになりました。それから、まいにち 毎日いっしょうけんめい はたら 働きました。

がつ 4月からの9ヶ月間はボランティアの方がたにもてつだ 手伝っていただくほどのいそがし さでした。2014年に ねん ばしょ 場所をうつして あた 新しく店を建て、しんさいまえ 震災前と同じように しごと 仕事ができるようになりました。じんさいご 震災後は、かせつ 住宅にひとりで ひとり す 住んでいる方や おとし 年よりからの しごと 仕事が多くなりました。でんきや しごと 電気屋としての仕事だけでなく、おとし 年よりの はな あいて 話し相手になったり、おとし 年よりのおてつだ 手伝いをしたりすることも大切にしています。

これからも、「まちの でんきや 電気屋さん」として、ひと 人とのつながりを だいじ 大事にしながら しごと 仕事をし、すこ 少しでも いのまき 石巻の ふっこう 復興の力に おも なれればと思っています。



ふりかえり